



# エコツアー

98

エコムつうしん 98号 <記念特別号①>

## あれこれやって、もうすぐ100号

エコツアー(当時は「エコムつうしん」の名称でした)の創刊は、2004年。当初はペラ1の体裁で、輪転機でプリントしていました。会社の規模が大きくなるにつれて体裁も内容も変わり、現在に至っています。98号～100号のエコツアーは特別バージョンで、主に社内情報をお届けします。

- ユニフォームのデザインを一新
- 一人ひとりの個性と力のおかげ
- エコツアーのこれまで(1)

[だから、つくりたい。：神山龍太郎さん]



だから、つくりたい。

神山竜太郎さん



作品にはアクリルガッシュを使用。鉛筆の下書きや乾燥後の色鉛筆やマジックペンの加筆はしない。

## 幸せな出会い。創作するヨロコビに目覚めてしまった。

今号の表紙は神山竜太郎さんの「stripe」を紹介しました。神山さんが描くカラフルな絵は、自由に筆を走らせているように見えて、規則性があり、彼に備わる几帳面で礼儀正しい性格が伝わってきます。

神山さんが「生活介護事業所アートフィールド」を利用するようになったのは1年ほど前。自宅近辺に事業所ができたことを知り、ご家族とともにこの場所を訪れます。そこで出会ったのが創作する楽しみでした。経験はありませんでしたが、創作道具が揃っている環境に触発されたのが「やります」と宣言し、絵を描き始めたのです。

練習のために描いた青い1本の線からスタート。それから絵の具を混色するなどの技法を取得し、描く楽しさに目覚め、表紙のようなストライプを主題とした表現にたどり着きます。ちなみに、線の太さや縦・横・斜、色、素材を変えて描かれたストライプ作品は100点近くになりました。



左から主任の森真紀さん、スタッフの小栗梨沙さん、神山竜太郎さん



ギャラリーやカフェでは販売も。絵が売れるようになったと聞き、ご両親はびっくり



きのこをテーマにした作品「ヌメリアカチチタケ」

彼の作品の魅力は、ストライプから絵本の一場面、山野草やきのこへと画題が変化すること。1つの画題を数十枚描くのですが、ある日突然切り替わっているのが、周囲はびっくり。そのきっかけをつくるのがスタッフの小栗さんです。彼女は神山さんの創作姿勢に共感し、彼の座席前にある本棚に、彼が興味を持ちそうな図鑑や写真集をそっと忍ばせています。

通所時に集中して描くため、今では300点ほどの作品数に。彼の作品を好きになり購入する人もいますが、本人は売れることを目的として描いている様子はなく、楽しいから・が動機となっているようです。



表紙作品：「stripe」

エコツアー 98

令和6年12月発行

発行：エコムカワムラ株式会社  
岐阜県安八郡輪之内町里85番地の3

TEL 0584-68-2033 (代)

制作：エコツアー編集部 (いいデザイン) ishihidesign@outlook.com バックナンバー



TASCぎふ((公財)岐阜県教育文化財団 岐阜県障がい者芸術文化支援センター)は、障がいのある人を支えるとともに、アートの力を活用して、社会とまじわる場をつくり、育て、障がいのある人の表現と社会参加の可能性を広げることを目指しています。今回は、令和5年4月に開所したアートフィールドをご紹介します。